

はなしばい台本

お返事

作 天野真由

手紙と花束を抱え、手紙を読みながら部屋に入ってくる

「いつも応援しています。……。」

読みながら座る

「歌声が特に好きで、舞台を見に行く度に元気をもらって帰っています。」  
「次回の公演も楽しみです。」

思いついたように手紙と花束を机に置き、部屋の外へ  
新しい便せんと封筒を持ってきて手紙を書き始める

「お手紙とお花をくれた君へ、いつも応援ありがとうございます！お手紙もらえて本当に嬉しいです。っと。」

「……こんなもんかな。」

「このようなお手紙をもらうのは初めてで、どのようにお返事したらいいか迷ったけれど、僕も、精一杯お手紙を書きたいと思います！」

「うーん、それから……。」

暑い日が増えてきましたね

お元気ですか

「僕は元気です！」

僕の方は晴れた日になると

ペランダに出て歌っています

「あつ、こんなこと書いたらおかしい奴か……？いや、でも歌うのは楽しいし……」

「なんて書こう……。」

手紙をもらって考えました

僕は何のため誰のため

ここに居るのか舞台に立つのか

結局答えは出ないけど今は君のため歌いたい

晴れた空に向かって歌う できることなら君に届けたい  
顔も見えない声も届かないけど 僕のことを知ってくれてる君へ

晴れた空に向かって歌う 空の向こうの君まで届け  
舞台が好き 音楽が好き 同じ気持ちを持っているなら  
僕らはきつとつながれる 気がするから

「また劇場で会える日を楽しみにしています。っと。」

「よっし、出してくるか。」

手紙を持ち上げると便せんが一枚落ちる

追伸。 こんなこと言って困らせてしまったらすみません  
実は、ずっと前からあなたのことが……

おわり